

2026年2月9日

各博物館・資料館・アーカイブズ等 館長 殿

東北大学学術資源研究公開センター  
センター長 高嶋 礼詩  
(公印省略)

## 博物館等の防災の取り組みに関するアンケート調査について（依頼）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より東北大学学術資源研究公開センターの活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当センターは、総合学術博物館・史料館・植物園の三つの施設で構成され、東北大学が保有する学術資源を保管・研究・公開する組織です。東北大学では、災害科学国際研究所に拠点を設置し、国立歴史民俗博物館・神戸大学と共に「歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業」を行っております。当事業の第1期（2018～2021年度）では、災害から歴史文化資料の保全を担う人材の育成を目的とした講座を担当いたしました。2022年度からは第2期として、歴史資料等の防災に重点を置いた教育プログラムの開発を進めております。

昨今、自然災害の激甚化に伴い、歴史資料等を多数収蔵する博物館をはじめとする文化施設において、被災事例が相次いでおります。こうした被害を未然に防ぐためには、まず各施設が抱える現状の把握が急務であると考えられます。そこでこの度、自然災害を想定したハザードマップ等の活用状況を調査し、今後の保全活動や教育プログラムの開発に活かすことを目的として、アンケート調査を実施することといたしました。

つきましては、ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

### 記

1. 調査の名称 博物館等の防災の取り組みに関するアンケート

2. 回答方法・期限

同封の「アンケート回答要領」に記載の Google フォームよりご回答をお願いいたします。回答期限：2026年3月16日（月）

3. 同封書類

- ・アンケート回答要領（QRコード・URL記載） 1部
- ・調査票（参考用） 1部

以上